

特 別 講 演

国土資源の保全と日本文明の未来

国際日本文化研究センター 教授

安 田 喜 憲

国土資源の保全と日本文明の未来

1. 地政学を欠如した日本の資源外交

戦後日本の地理学の転換
地人相関論と地政学の放棄
マルクス主義と中心地論の台頭
環境決定論とエピジェネティクス
気候と文明の研究
地理学教室 15 年と公募 36 回
日本の地理学を衰亡させた人々

2. 新たな文明の原理は危機の時代に生まれる

農耕革命：移動から定住 富の蓄積
都市革命：交易と消費 階級支配
精神革命：多神教から一神教
科学革命：自然支配の世界観 自然搾取のエネルギーシステム
環境革命：搾取から循環
市場原理主義の超克
森の文明原理

3. 森の文明原理が地球と人類を救う

周辺文明が中心文明を駆逐する
アレクサンダーのマケドニア
縄文は森の文明の原点
地球に祈る心
生命への畏敬の念を感じる心
女性中心の社会
人殺しと戦争のない社会

4. 稲作漁撈文明が地球と人類を救う

魚食と肉食の文明
うま味がキーワード
森里海の水の循環系を核とした社会システム
利他の心と慈悲の心の醸成

5. 狙われる国土資源

国土資源を失えば日本人は消滅する
外資に狙われる日本の水資源
市場原理主義から日本の国土資源をどう守る

参考図書

安田喜憲：『山は市場原理主義と闘っている』東洋経済新報社 2009年
安田喜憲：『稲作漁撈文明』雄山閣 2008年
平野秀樹・安田喜憲：『奪われる日本の森』新潮社 2010年